

2005年6月6日

産業技術総合研究所 システム検証研究センター 第二回システム検証の科学技術シンポジウム開催

- システム・ディペンダビリティ(信頼性)の向上にむけて -
< 講演募集 >



産業技術総合研究所
システム検証研究センター

< 背景 >

現在、情報処理システムは、銀行システム、通信システム、航空・道路・列車など交通機関の制御システムなど、非常に身近な生活手段に組み込まれています。暮らしのあらゆる場面へ情報処理システムの遍在化がすすむのに比例して、システムの不具合(バグ)が国、企業、そして個人の生活に極めて甚大な損害を及ぼすケースも増加しています。

このような、システムの不具合による実質的な被害と潜在的な不安の軽減に向け、情報処理システムの動作検証は、**システムのディペンダビリティ(信頼性)向上**の基本技術として重要性が広く認識されており、また、**開発現場での生産性の向上**という観点からも、その役割は大きいといえます。

< 開催要旨 >

産業技術総合研究所システム検証研究センターは、現代のシステム社会に不可欠なシステム検証の研究を手がける機関として様々な活動を展開しております。その活動の一環として2004年2月に第一回システム検証の科学技術シンポジウムを開催、この分野の研究者や企業の皆様など、のべ約200名にご参加いただきました。そして今年、第二回目を下記日程にて開催し、**システム検証の科学技術**をテーマにより活発な研究交流をはかりたいと存じます。

< 講演募集 >

シンポジウム開催に当たりまして講演者を募集いたします。システム検証の二つの代表的なアプローチである数理的技法(formal methods)とテスト技法、数理的技法の対象となる数理的モデルを提供するプログラミング意味論、ソフトウェア認証技術、産業における検証技術適用事例(フィールドワーク)をはじめとする関係各方面における第一線の研究発表をお寄せいただき、この分野の現状を明らかにできればと存じます。

応募締め切りは2005年8月31日です。

< 概要 >

題名	第二回システム検証の科学技術シンポジウム (参加費無料 懇親会費は別途)
日時	2005年10月20日(木)・21日(金)
場所	千里ライフサイエンスセンタービル(地下鉄御堂筋線千里中央駅すぐ)
主催	科学技術振興機構、産業技術総合研究所システム検証研究センター
協賛	日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、関西IT共同体
論文集の発行	発表申し込み原稿からコンピュータソフトウェア誌(日本ソフトウェア科学会学会誌:岩波書店発行)への投稿を希望するものを査読の上コンピュータソフトウェア誌特集号として刊行を予定
基調講演	木下 佳樹(システム検証研究センター長)
招待講演	小野 寛晰(北陸先端科学技術大学院大学教授)、高田 広章(名古屋大学教授) 岸田 孝一(株式会社 SRA)
問い合わせ先	産業技術総合研究所 システム検証研究センター シンポジウム事務局 TEL06-4863-5022 FAX06-4863-5052 Email verification2005@m.aist.go.jp

シンポジウムURL <http://unit.aist.go.jp/cvs/symposium/verification2005/>

システム検証研究センターURL <http://unit.aist.go.jp/cvs/>

以上